

平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日
上場取引所 大

上場会社名 株式会社 星医療酸器
コード番号 7634 URL <http://www.hosi.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日
有価証券報告書提出予定日 平成25年6月27日
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 星 幸男
(氏名) 岡田 利夫
配当支払開始予定日

TEL 03-3899-2101
平成25年6月28日

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	8,886	2.8	1,126	0.3	1,150	1.3	691	4.0
24年3月期	8,642	5.0	1,123	2.2	1,135	1.6	665	△15.0

(注) 包括利益 25年3月期 713百万円 (7.1%) 24年3月期 666百万円 (△11.1%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	209.11	—	8.5	9.6	12.7
24年3月期	200.08	—	8.8	10.0	13.0

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	12,037	8,519	69.4	2,528.24
24年3月期	11,895	7,981	65.7	2,352.84

(参考) 自己資本 25年3月期 8,352百万円 24年3月期 7,820百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	1,075	△258	△589	5,643
24年3月期	1,599	△282	△556	5,414

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	132	20.0	1.8
25年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00	132	19.1	1.6
26年3月期(予想)	—	20.00	—	20.00	40.00		18.4	

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,300	1.9	490	△8.7	500	△8.9	290	△12.1	87.78
通期	9,300	4.7	1,170	3.8	1,190	3.5	720	4.1	217.94

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
 新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 有
 ④ 修正再表示 : 無

(注)当連結会計年度より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、添付資料15ページ 4.連結財務諸表(5)連結財務諸表に関する注記事項をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

	25年3月期	3,601,681 株	24年3月期	3,601,681 株
① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	297,988 株	24年3月期	277,915 株
② 期末自己株式数	25年3月期	3,306,262 株	24年3月期	3,323,826 株
③ 期中平均株式数				

(参考)個別業績の概要

1. 平成25年3月期の個別業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	7,168	△2.0	741	△1.3	891	0.3	534	2.7
24年3月期	7,312	4.9	751	△3.8	888	△4.1	520	△15.9

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり当期純利益
25年3月期	円 銭 161.57	—
24年3月期	156.48	—

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
25年3月期	10,392		6,980	67.2			2,113.03	
24年3月期	10,438		6,605	63.3			1,987.37	

(参考) 自己資本 25年3月期 6,980百万円 24年3月期 6,605百万円

2. 平成26年3月期の個別業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	3,500	0.9	380	△12.6	230	△12.9	69.62
通期	7,500	4.6	920	3.2	550	3.0	166.48

※ 監査手続の実施状況に関する表示

・この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績・財政状態に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析	2
（1）経営成績に関する分析	2
（2）財政状態に関する分析	3
（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	4
（4）事業等のリスク	5
2. 企業集団の状況	6
3. 経営方針	7
（1）会社の経営の基本方針	7
（2）目標とする経営指標	7
（3）中長期的な会社の経営戦略	7
（4）会社の対処すべき課題	7
（5）その他、会社の経営上重要な事項	7
4. 連結財務諸表	8
（1）連結貸借対照表	8
（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書	10
（3）連結株主資本等変動計算書	12
（4）連結キャッシュ・フロー計算書	14
（5）連結財務諸表に関する注記事項	15
（会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更）	15
（セグメント情報等）	15
（1株当たり情報）	18
（重要な後発事象）	18

1. 経営成績・財政状態に関する分析

(1) 経営成績に関する分析

当連結会計年度におけるわが国経済は、昨秋から急速に進んだ円安・株高を背景に企業や消費者の心理が上向き、景況感は改善基調に転じつつあります。

但し、欧州債務問題の再燃や日中関係の先行き不安等が完全に解消していないことから、不透明感が払拭出来ない状況で推移しました。

当医療ガス業界においては、業界内における競争が引続き激化しており、加えて医療機関経営の効率化や、医療技術の進化による入院日数の短期化等もあり、当社を取巻く環境は引続き厳しいものと思われれます。

このような経営環境のもと、グループ各社との効率的な連携を図りつつ現状の営業基盤の拡充を図るとともに、国の在宅医療促進政策を加味して、新製品（無線通信機能を搭載した在宅酸素療法用酸素供給装置に付属する製品＝製品名：パレッツ）の本格投入に始まり、在宅医療や介護福祉関連など多岐に亘る分野における取扱業務の多様化推進と、経営環境に即した柔軟な経営、並びに社会貢献を念頭に営業力の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当期の連結売上高は8,886百万円（前期比2.8%増）となりました。一方利益面では、連結経常利益は1,150百万円（前期比1.3%増）となり、連結当期純利益は、691百万円（前期比4.0%増）といずれも前期を上回りました。

各部門の概況は、次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「介護福祉関連レンタル事業」について量的な重要性が増したため、「介護福祉関連事業」として区分表示することに変更しております。また、通所介護サービスの開始に伴い、当第4四半期連結会計期間より「有料老人ホーム関連事業」を「施設介護関連事業」に名称を変更しております。

なお、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

①医療用ガス関連事業

当部門は、薬剤や医療機器の進歩、並びに患者様の身体的負担を軽減化する医療技術の浸透などにより、術後のケアが短期間となりつつあることで、従来に比して入院日数が減少していることに伴い、医療用酸素ガスの消費量は鈍化の傾向にあります。

加えて、医療機関の淘汰や薬価の上昇が見込めない点等も勘案すると、現状の営業基盤を確保しつつ、その裾野を今後も継続的に拡大させる必要性がより一層高まっているものと認識しております。

このような環境を踏まえ、安定供給を旨とした営業努力を重ねましたが、売上高は3,327百万円（前期比4.4%減）、セグメント利益は407百万円（前期比13.6%減）となりました。

②在宅医療関連事業

当部門は、従前から重点部門として推進してきた結果、当社収益源の柱の一つとして成長しつつあります。また、国が在宅医療促進政策を推進するなか、新製品のパレッツを、今期本格投入するなどの施策を打っており、当該製品は各地で開催される呼吸器学会等でも注目され、出荷数も順調に推移し始めております。

また、人工呼吸器やC P A P（持続陽圧呼吸療法一閉塞型睡眠時無呼吸症に対応する機器）に関する需要も増加傾向にあり、安定的な収益を確保した結果、売上高は3,176百万円（前期比3.3%増）、セグメント利益は539百万円（前期比2.3%増）となりました。

③医療用ガス設備工事関連事業

当部門は、メンテナンス・工事の両部門において、安定した売上を確保しており、多くの医療機関で耐震補強工事及び老朽化による増改築工事の需要が継続している状況です。このような環境のなか大型

案件の完成等が寄与し、売上高は1,102百万円（前期比24.4%増）、セグメント利益は134百万円（前期比52.7%増）となりました。

④介護福祉関連事業

当部門は、在宅及び病院・医療施設へのレンタルや特殊入浴装置買替需要の受注が堅調に推移したうえに、今期本格投入した「足漕ぎ車椅子」（歩行困難な方も、自身の両足でペダルを漕ぐことにより活動範囲が飛躍的に高まり、リハビリへの効果も期待出来る製品—製品名：プロファンド）も順調に取扱件数が増加しており、売上高は466百万円（前期比16.0%増）、セグメント利益は53百万円（前期比229.2%増）となりました。

⑤施設介護関連事業

東京都杉並区阿佐ヶ谷にて運営中の有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」は、平成22年12月の増床後、一時的に低下した入居率の向上に向け営業努力を継続したことにより、昨秋以降徐々に回復基調に転じてまいりました。従来から実施している新聞折込・杉並区の広報誌等への募集案内、杉並区と中野区を中心とした病院の医療相談室や居宅介護支援事業所への往訪等を継続し、稼働率の向上に向けた努力を行っております。

また、新たな取り組みとして通所介護施設「あしつよ・文京」を新設して、業務範囲の拡大も図りました。しかしながら、当期につきましては「ライフステージ阿佐ヶ谷」の入居率回復が期初の予定を下回って推移した結果、売上高は196百万円（前期比1.6%増）、セグメント損失は78百万円（前期セグメント損失55百万円）となりました。

今後の見通しについては、各種経済対策の効果などを背景に景気は回復へ向かうことを期待するものの、先行きは不透明な状況であります。

このような認識のもと当社グループは、効率的な経営資源の配分と企業体力の増強、更には企業価値並びに社会貢献の向上に努めてまいります。

次期の業績予想については、売上高9,300百万円（前期比4.7%増）、営業利益1,170百万円（前期比3.8%増）、経常利益1,190百万円（前期比3.5%増）、当期純利益720百万円（前期比4.1%増）を見込んでおります。

（2）財政状態に関する分析

①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当連結会計年度末の流動資産の残高は7,680百万円（前連結会計年度末7,509百万円）となり170百万円増加いたしました。現金及び預金の増加（5,414百万円から5,643百万円へ228百万円増）及び、受取手形及び売掛金の減少（1,778百万円から1734百万円へ44百万円減）が主な要因であります。

当連結会計年度末の固定資産の残高は、4,356百万円（前連結会計年度末4,385百万円）となり29百万円減少いたしました。工具器具備品の増加（252百万円から272百万円へ19百万円増）、投資有価証券の増加（496百万円から541百万円へ45百万円増）及びリース資産の減少（591百万円から453百万円へ138百万円減）が主な要因であります。

（負債）

当連結会計年度末の流動負債の残高は2,663百万円（前連結会計年度末2,855百万円）となり192百万円減少いたしました。支払手形及び買掛金の減少（1,594百万円から1,531百万円へ63百万円減）、未払法人税等の減少（311百万円から220百万円へ90百万円減）、リース債務の減少（274百万円から234百万円へ39百万円減）が主な要因であります。

当連結会計年度末の固定負債の残高は854百万円（前連結会計年度末1,058百万円）となり204百万円減少いたしました。長期借入金の減少（235百万円から117百万円へ117百万円減）、リース債務の減少

（345百万円から234百万円へ111百万円減）が主な要因であります。

（純資産）

当連結会計年度末の純資産の残高は、8,519百万円（前連結会計年度末7,981百万円）となり538百万円増加いたしました。当期純利益691百万円の計上と、配当金の支払132百万円が主な要因であります。

②キャッシュ・フローの状況

当連結会計年度において、現金及び現金同等物は228百万円増加し、当連結会計年度末残高は、5,643百万円（前期比4.2%増）となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、営業活動により得られた資金は1,075百万円（前期比523百万円減）となりました。

これは税金等調整前当期純利益が1,149百万円（前期比14百万円増）となり、減価償却費440百万円、法人税等の支払545百万円（前期比262百万円増）があったこと等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、投資活動により使用した資金は258百万円（前期比24百万円減）となりました。

これは、有形固定資産の取得による支出190百万円（前期比50百万円増）、投資有価証券の取得による支出147百万円（前期比23百万円増）及び投資有価証券の売却及び償還による収入100百万円（前期比97百万円増）があったこと等によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度において、財務活動により使用した資金は589百万円（前期比32百万円増）となりました。

これは、長期借入金の返済による支出117百万円、リース債務の返済による支出296百万円（前期比8百万円減）及び配当金の支払い132百万円があったこと等によるものであります。

（参考） キャッシュ・フロー関連指標の推移

	平成21年3月期	平成22年3月期	平成23年3月期	平成24年3月期	平成25年3月期
自己資本比率 (%)	69.0	69.6	67.6	65.7	69.4
時価ベースの自己資本比率 (%)	63.2	65.0	62.5	60.7	67.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (%)	25.7	26.1	92.0	60.9	65.5
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	267.1	196.3	122.5	128.3	126.3

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

※1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により算出しております。

※2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式総数（自己株式控除後）により算出しております。

※3. キャッシュ・フローは、期末連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。

※4. 有利子負債は、期末連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っているすべての負債を対象としております。また、利払いにつきましては、期末連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

（3）利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要課題の一つとして認識しております。安定的な経営基盤の確保と株主資本利益率の向上に努めるとともに、配当につきましても配当性向を高め、安定的な配当の継続を業績に応じて、行うことを基本方針としております。

当社の剰余金の配当は、中間配当及び期末配当の年2回を基本的な方針としております。配当の決定機関は、中間配当・期末配当ともに取締役会であります。

当事業年度の剰余金の配当につきましては、安定配当の継続を基本方針に、一株当たり20円の間配当、20円の期末配当による年間40円となる予定です（連結配当性向19.1%）。次期の配当については中間20円、期末20円の年間40円を予定しております（予想配当性向18.4%）。

内部留保資金につきましては、同業他社との競争激化に対処し営業体制の整備やコスト競争力の強化に備えるとともに、将来の事業展開に向けて有効に活用していくことといたします。

（4）事業等のリスク

当社の経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性のある事項には、以下のようなものがあります。

なお文中における将来に関する事項は、当連結会計年度末現在において当社グループ（当社及び連結子会社）が判断したものであります。

①法的な規制について

当社グループの主要取扱商品である医療用ガスは、薬価基準に記載されております。薬価基準は、医療保険で使用できる医薬品の範囲と医療機関が使用した医薬品の請求価格を定めたものであります。従って、薬価基準は販売価格の上限として機能しております。このため、薬価改定の内容によっては医療用ガス等の販売価格に反映し、業績及び収益に影響を及ぼす可能性があります。

また、医療用ガス及び医療用関連商品の販売並びに病院向けの医療用ガス配管設備の施工・メンテナンス、在宅酸素発生器のレンタル、介護福祉関連機器のレンタル及び販売については、各事業は監督官庁の許可、登録、免許及び届出を受けて営業活動を行っておりますので、法令の改正等に伴い経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があります。

②告示価額制度について

当社グループは売上高に占める医療用ガスの割合が3分の1超であり、薬価の改訂により単価は引き下げ傾向にあります。将来において主力製品の単価に引き下げが発生した場合、経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があります。

③全国展開について

各事業所・営業所の営業力を強化し、新規取引先を中心に拡大しておりますが当初計画より遅れた場合、当社グループの利益の低下になり経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があります。

④安全について

当社グループは、高圧ガス保安法に則り医療用ガス等を製造・販売しておりますが、工場事故等が発生し生産量が低下した場合、当社グループの経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があります。

⑤事業投資について

当社グループは、近年積極的なM&Aを展開し業容の拡大を図っております。事業投資が当初計画から乖離した場合、当社グループの経営成績及び財務状況等に影響を及ぼす可能性があります。

2. 企業集団の状況

当社グループは、当社（株式会社星医療酸器）、連結子会社6社及び非連結子会社1社で構成されており、事業における位置付け及びセグメントとの関連は、次のとおりであります。

（医療用ガス関連事業）

当部門は、当社、㈱星医療酸器関西及び㈱星医療酸器東海が、医療用ガス及び医療用ガス関連商品の企画・販売を行い、医療用ガスの製造は、各地域製造子会社である㈱エイ・エム・シー（東京都）、㈱アイ・エム・シー（茨城県）、㈱ケイ・エム・シー（神奈川県）で行っております。

（在宅医療関連事業）

当部門は、当社、㈱星医療酸器関西及び㈱星医療酸器東海が、在宅酸素発生器等のレンタル業務を行っております。当社が在宅酸素発生器等の仕入を行い、㈱星医療酸器関西及び㈱星医療酸器東海にリースしております。

（医療用ガス設備工事関連事業）

当部門は、当社、㈱星医療酸器関西、㈱星医療酸器東海及び㈱星エンジニアリングが、医療用ガス配管設備の工事・メンテナンスを行っており、㈱星エンジニアリングに外注しております。

（介護福祉関連事業）

当部門は、当社、㈱星医療酸器関西、及び㈱星医療酸器東海が、介護福祉関連機器等のレンタル業務及び販売を行っております。

（施設介護関連事業）

当部門は、当社が東京都杉並区阿佐ヶ谷にて有料老人ホーム「ライフステージ阿佐ヶ谷」及び東京都文京区にて通所介護施設「あしつよ・文京」を運営しております。

3. 経営方針

(1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、「地域医療に奉仕する」を経営理念として、人の命を支える医療用ガスを「できるだけ早く、そして確実に」お届けすることを基本に、常に社会が必要とすること、ユーザーが求めているものを敏感にキャッチし、それに応える高品質なサービスを提供していくことを第一義に取り組んでおります。

(2) 目標とする経営指標

当社グループは、数値目標として以下の指標を設定し、この達成に向け進んでおります。

売上高経常利益率は、12.5%を目標として、安定かつ継続的に収益性を確保し株主の皆様へ還元し、株主資本比率は、連結・単体ベースともに70%を数値目標として更なる企業基盤の安定性を継続してまいります。

(3) 中長期的な会社の経営戦略

当社グループの経営戦略は、医療用ガスの安定収益をベースとして成長する在宅酸素市場で、シェアアップするとともに業界再編が進んでいる中でM&Aを含め更なる拡大を行ってまいりました。今後とも介護保険の充実を勘案し成長市場である介護福祉事業の拡充と、今後の高齢化社会に対応した事業展開を進めてまいります。

(4) 会社の対処すべき課題

今後の課題としましては、当業界を取り巻く環境も目まぐるしく変化する状況の中、国の政策も「訪問診療」や「訪問介護」等の在宅医療分野へ軸足が移りつつある点を視野に、当社の今後の営業指針をより一層明確にして活動を遂行していく重要性が増加してくるものと認識しております。

つきましては、引続き人材育成、営業拠点の設置並びに既設営業拠点の見直し、在宅医療関連事業の取引基盤拡大や有料老人ホームの入居者確保に注力するとともに、新たに品揃えした商品の拡販や、グループ全体の収益源の多角化に向けた施策を実施して、効率的な経営資源の配分と企業体力の増強、更には企業価値並びに社会貢献度の向上に努める所存でございます。

(5) その他、会社の経営上重要な事項

該当事項はありません。

4. 連結財務諸表
 (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,414,341	5,643,150
受取手形及び売掛金	1,778,301	1,734,131
商品及び製品	71,706	77,154
未成工事支出金	117,785	87,566
原材料及び貯蔵品	28,289	26,097
繰延税金資産	71,702	78,020
その他	38,152	41,567
貸倒引当金	△10,369	△6,957
流動資産合計	7,509,910	7,680,730
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,269,301	1,289,303
減価償却累計額	△652,915	△695,312
建物及び構築物（純額）	616,386	593,991
機械装置及び運搬具	342,240	354,505
減価償却累計額	△304,442	△315,752
機械装置及び運搬具（純額）	37,798	38,753
工具、器具及び備品	1,873,953	1,978,745
減価償却累計額	△1,620,964	△1,706,291
工具、器具及び備品（純額）	252,988	272,453
土地	1,851,903	1,870,975
リース資産	835,894	803,232
減価償却累計額	△353,254	△432,412
リース資産（純額）	482,640	370,819
建設仮勘定	1,665	7,830
有形固定資産合計	3,243,382	3,154,823
無形固定資産		
ソフトウェア	6,439	5,412
電話加入権	8,941	8,941
リース資産	109,256	82,627
その他	123	4,101
無形固定資産合計	124,760	101,083
投資その他の資産		
投資有価証券	496,966	541,997
長期貸付金	26,128	17,268
長期前払費用	13,903	28,061
繰延税金資産	183,962	171,386
その他	298,772	343,829
貸倒引当金	△2,184	△1,832
投資その他の資産合計	1,017,548	1,100,710
固定資産合計	4,385,692	4,356,617
資産合計	11,895,602	12,037,347

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,594,469	1,531,010
1年内返済予定の長期借入金	117,636	117,636
リース債務	274,426	234,521
未払法人税等	311,133	220,402
賞与引当金	108,400	120,000
設備関係支払手形	9,796	36,277
その他	439,453	403,286
流動負債合計	2,855,315	2,663,134
固定負債		
長期借入金	235,319	117,683
繰延税金負債	1,386	1,704
リース債務	345,962	234,653
役員退職慰労引当金	443,657	443,987
長期預り保証金	11,657	18,475
その他	20,655	38,023
固定負債合計	1,058,637	854,528
負債合計	3,913,953	3,517,662
純資産の部		
株主資本		
資本金	436,180	436,180
資本剰余金	513,708	513,708
利益剰余金	7,324,514	7,883,326
自己株式	△467,225	△509,990
株主資本合計	7,807,177	8,323,224
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,113	29,311
その他の包括利益累計額合計	13,113	29,311
少数株主持分	161,358	167,149
純資産合計	7,981,649	8,519,685
負債純資産合計	11,895,602	12,037,347

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
連結損益計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年 4月 1日 至 平成24年 3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年 4月 1日 至 平成25年 3月31日)
売上高	8,642,419	8,886,072
売上原価	4,048,561	4,294,765
売上総利益	4,593,857	4,591,307
販売費及び一般管理費		
販売手数料	40,250	29,998
旅費及び交通費	316,353	327,208
役員報酬	296,040	299,403
給料	1,375,987	1,405,088
福利厚生費	218,924	216,334
賞与引当金繰入額	92,799	103,312
退職給付費用	116,272	105,013
役員退職慰労引当金繰入額	32,550	330
のれん償却額	8,666	1,904
減価償却費	129,594	124,412
貸倒引当金繰入額	△12,039	△3,408
その他	854,741	855,082
販売費及び一般管理費合計	3,470,141	3,464,679
営業利益	1,123,716	1,126,627
営業外収益		
受取利息	10,254	9,299
受取配当金	8,591	9,166
仕入割引	2,937	4,371
雑収入	3,150	9,542
営業外収益合計	24,933	32,380
営業外費用		
支払利息	12,937	8,559
雑損失	—	364
営業外費用合計	12,937	8,924
経常利益	1,135,712	1,150,083
特別利益		
投資有価証券売却益	600	—
固定資産売却益	193	—
特別利益合計	793	—
特別損失		
固定資産除却損	2,201	1,010
特別損失合計	2,201	1,010
税金等調整前当期純利益	1,134,304	1,149,073
法人税、住民税及び事業税	467,231	454,618
法人税等調整額	△5,220	△2,488
法人税等合計	462,010	452,129
少数株主損益調整前当期純利益	672,293	696,943
少数株主利益	7,253	5,581
当期純利益	665,039	691,362

連結包括利益計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
少数株主損益調整前当期純利益	672,293	696,943
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△6,238	16,407
その他の包括利益合計	△6,238	16,407
包括利益	666,054	713,351
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	657,320	707,559
少数株主に係る包括利益	8,734	5,791

(3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
株主資本		
資本金		
当期首残高	436,180	436,180
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	436,180	436,180
資本剰余金		
当期首残高	513,708	513,708
当期変動額		
当期変動額合計	—	—
当期末残高	513,708	513,708
利益剰余金		
当期首残高	6,792,428	7,324,514
当期変動額		
剰余金の配当	△132,953	△132,550
当期純利益	665,039	691,362
当期変動額合計	532,086	558,812
当期末残高	7,324,514	7,883,326
自己株式		
当期首残高	△467,025	△467,225
当期変動額		
自己株式の取得	△199	△42,765
当期変動額合計	△199	△42,765
当期末残高	△467,225	△509,990
株主資本合計		
当期首残高	7,275,291	7,807,177
当期変動額		
剰余金の配当	△132,953	△132,550
当期純利益	665,039	691,362
自己株式の取得	△199	△42,765
当期変動額合計	531,886	516,046
当期末残高	7,807,177	8,323,224

（単位：千円）

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	20,832	13,113
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△7,719	16,197
当期変動額合計	△7,719	16,197
当期末残高	13,113	29,311
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	20,832	13,113
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△7,719	16,197
当期変動額合計	△7,719	16,197
当期末残高	13,113	29,311
少数株主持分		
当期首残高	152,623	161,358
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	8,734	5,791
当期変動額合計	8,734	5,791
当期末残高	161,358	167,149
純資産合計		
当期首残高	7,448,748	7,981,649
当期変動額		
剰余金の配当	△132,953	△132,550
当期純利益	665,039	691,362
自己株式の取得	△199	△42,765
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1,014	21,989
当期変動額合計	532,901	538,036
当期末残高	7,981,649	8,519,685

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	1,134,304	1,149,073
減価償却費	441,376	440,781
のれん償却額	8,666	1,904
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	30,060	330
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△13,128	△3,763
賞与引当金の増減額（△は減少）	7,400	11,600
投資有価証券売却損益（△は益）	△600	—
受取利息及び受取配当金	△18,846	△18,466
支払利息	12,937	8,559
有形固定資産除売却損益（△は益）	2,008	1,010
売上債権の増減額（△は増加）	△78,830	44,525
たな卸資産の増減額（△は増加）	△5,704	26,962
仕入債務の増減額（△は減少）	260,502	△63,458
その他	95,690	10,437
小計	1,875,836	1,609,495
利息及び配当金の受取額	18,525	18,736
利息の支払額	△12,462	△8,518
法人税等の支払額	△282,466	△543,716
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,599,433	1,075,996
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の取得による支出	△123,354	△147,342
投資有価証券の売却及び償還による収入	2,100	100,000
有形固定資産の取得による支出	△139,393	△190,334
有形固定資産の売却による収入	207	—
無形固定資産の取得による支出	△5,735	△2,304
長期貸付金の回収による収入	11,999	9,607
その他の支出	△31,256	△28,752
その他の収入	2,667	1,017
投資活動によるキャッシュ・フロー	△282,764	△258,109
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△305,322	△296,341
長期借入金の返済による支出	△117,636	△117,636
自己株式の取得による支出	△199	△42,765
配当金の支払額	△132,980	△132,335
財務活動によるキャッシュ・フロー	△556,139	△589,078
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	760,529	228,808
現金及び現金同等物の期首残高	4,653,811	5,414,341
現金及び現金同等物の期末残高	5,414,341	5,643,150

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当連結会計年度の営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益はそれぞれ4,028千円増加しております。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、本社にサービス別の事業本部を置き、各事業本部は取り扱うサービスについて包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

従って、当社は事業本部を基礎としたサービス別セグメントから構成されており、「医療用ガス関連事業」、「在宅医療関連事業」、「医療用ガス設備工事関連事業」及び「介護福祉関連事業」並びに「施設介護関連事業」の5つを報告セグメントとしております。

なお、第1四半期連結会計期間より、従来「その他」に含まれていた「介護福祉関連レンタル事業」について量的な重要性が増したため、「介護福祉関連事業」として区分表示することに変更しております。

また、通所介護サービスの開始に伴い、当第4四半期連結会計期間より「有料老人ホーム関連事業」を「施設介護関連事業」に名称を変更しております。

なお、当連結会計年度の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

「医療用ガス関連事業」は、医療用酸素ガス、麻酔用ガス及びその他医療用ガス全般の販売をしております。

「在宅医療関連事業」は、在宅酸素療法用酸素濃縮器、持続陽圧呼吸療法用機器、在宅人工呼吸器等のレンタル及び販売を行っております。

「医療用ガス設備工事関連事業」は、医療用ガス配管工事の設計・施工及び医療用ガス配管設備保守点検等を行っております。

「介護福祉関連事業」は、介護福祉関連用品、機器等のレンタル、販売及び住宅改修等を行っております。

「施設介護関連事業」は、有料老人ホーム、通所介護施設の運営及びそれに付帯する業務等を行っております。

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表の作成方法と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報
 前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,481,450	3,075,798	886,366	402,099	193,582	8,039,296	603,122	8,642,419
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	68,285	—	—	68,285	—	68,285
計	3,481,450	3,075,798	954,651	402,099	193,582	8,107,581	603,122	8,710,704
セグメント利益 又は損失(△)	471,026	527,465	88,285	16,200	△55,489	1,047,488	84,010	1,131,498
セグメント資産	936,730	1,168,572	276,495	101,473	277,339	2,760,612	44,828	2,805,441
その他の項目								
減価償却費	96,979	243,753	2,815	8,509	27,208	379,265	463	379,729
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	121,139	271,311	714	21,664	—	414,829	19	414,849

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	医療用ガス 関連事業	在宅医療 関連事業	医療用ガス 設備工事 関連事業	介護福祉 関連事業	施設介護 関連事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	3,327,660	3,176,788	1,102,397	466,259	196,598	8,269,703	616,369	8,886,072
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	94,430	—	—	94,430	—	94,430
計	3,327,660	3,176,788	1,196,827	466,259	196,598	8,364,134	616,369	8,980,503
セグメント利益 又は損失(△)	407,000	539,338	134,825	53,339	△78,174	1,056,329	84,986	1,141,315
セグメント資産	1,022,589	979,264	242,288	96,588	272,650	2,613,382	49,197	2,662,579
その他の項目								
減価償却費	101,686	234,333	2,757	12,010	22,542	373,330	507	373,837
有形固定資産及 び無形固定資産 の増加額	124,003	140,322	302	5,584	17,352	287,566	61	287,627

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、看護学校関連事業、医療器具関連事業等を含んでおります。

4 報告セグメント合計額と連結財務諸表計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

売上高	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	8,107,581	8,364,134
「その他」の区分の売上高	603,122	616,369
セグメント間取引消去	△68,285	△94,430
連結財務諸表の売上高	8,642,419	8,886,072

(単位：千円)

利益	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	1,047,488	1,056,329
「その他」の区分の利益	84,010	84,986
セグメント間取引消去	△7,782	△14,687
連結財務諸表の営業利益	1,123,716	1,126,627

(単位：千円)

資産	前連結会計年度	当連結会計年度
報告セグメント計	2,760,612	2,613,382
「その他」の区分の資産	44,828	49,197
全社資産(注)	9,090,161	9,374,768
連結財務諸表の資産合計	11,895,602	12,037,347

(注) 全社資産は、主に報告セグメントに帰属しない本社の現金及び預金、売上債権、土地建物等であります。

前連結会計年度(自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	379,265	463	61,647	441,376
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	414,829	19	135,865	550,715

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社建物等の設備投資額であります。

当連結会計年度(自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)

(単位：千円)

その他の項目	報告セグメント計	その他	調整額(注)	連結財務諸表計上額
減価償却費	373,330	507	66,943	440,781
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	287,566	61	31,762	319,390

(注) 有形固定資産及び無形固定資産の増加額の調整額は、主に本社建物等の設備投資額であります。

（1 株当たり情報）

前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）		当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）	
1株当たり純資産額	2,352円84銭	1株当たり純資産額	2,528円24銭
1株当たり当期純利益	200円08銭	1株当たり当期純利益	209円11銭

（注）1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 算定上の基礎

① 1株当たり純資産額

項 目	前連結会計年度末 （平成24年3月31日）	当連結会計年度末 （平成25年3月31日）
連結貸借対照表の純資産の部の合計(千円)	7,981,649	8,519,685
普通株式に係る純資産額(千円)	7,820,291	8,352,535
差額の主な内訳(千円)		
少数株主持分	161,358	167,149
普通株式の発行済株式(株)	3,601,681	3,601,681
普通株式の自己株式数(株)	277,915	297,988
1株当たり純資産額の算定に用いられた 普通株式の数(株)	3,323,766	3,303,693

② 1株当たり当期純利益

項 目	前連結会計年度 （自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日）	当連結会計年度 （自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日）
連結損益計算書上の当期純利益(千円)	665,039	691,362
普通株式に係る当期純利益(千円)	665,039	691,362
普通株主に帰属しない金額	—	—
普通株式の期中平均株式数(株)	3,323,826	3,306,262

（重要な後発事象）

該当事項はありません。